

基本施策2 次代を担う若者を支援する環境づくり

少子化や核家族化などを背景として、子どもが乳幼児とふれあう機会が減少しています。また、晩婚化が少子化の一因となっている中で、若者が将来の結婚や出産、子育てに対する関心を高め、それらも意識したライフプランを考えられるような支援が重要になっています。

そのために、中学生などの早い時期から乳幼児とふれあう機会をつくるとともに、子どもの頃から生命の大切さ、男女が協力して家庭を築くことや子どもを産み育てることの意義に関する教育・広報などを、各分野が連携して取り組むことが必要です。

本市の人口動態の推移をみると、平成14年以降は毎年転出が転入を上回り、平成30年は485人の転出超過となっています。高校卒業後の進学や就職で転出する若者が多い実態にある中で、若者の生活基盤の整備を推進することが重要です。(P.4、図表2-1)

本市の有効求人倍率¹は令和元年8月には1.65倍と近年好調となっているものの、より多くの若者が定着するためには、雇用の場や機会をより多く確保するとともに、若者にとって魅力的な雇用を継続して創出することが必要です。そして、若者の定住やU I Jターンを推進するため、地元定着に対する若者や保護者の意識啓発や、地元企業のPRなどを関係機関が連携して進めることが大切です。また、地元定着の基盤となる、郷土愛の醸成を図ることも必要となります。

また、本市のような地方都市においては、結婚し家庭を築こうとする若者が、その思いを実現できるようなきっかけづくりも重要であり、若者の交流の場を創出し、結婚推進に取り組むことが必要です。

加えて、若者の就学に対する支援を行うことにより、生活基盤の安定と夢や希望を実現できる環境の整備が必要です。

図表4-2-1 高校卒業予定者就職内定率(ハローワーク酒田管内) (%)

区分	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月
県内	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6	99.6
県外	99.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計	99.8	100.0	100.0	100.0	99.7	99.7

資料：ハローワーク酒田

施策の方向性 1 子育ての喜びを実感できる環境づくり

若者が、子どもの頃から生命の大切さ、男女が協力して家庭を営むこと及び子どもを産み育てることの意義を理解し、結婚や出産、子育てまでを意識した自身のライフプランを設計できるように、各分野が連携して効果的な支援を推進することが必要です。

そのためには、教育・広報・啓発のほか、中学生、高校生、大学生などが、実際に乳幼児と接することで、生命をつなぐことのすばらしさや子育ての喜びを実感できる機会を充実していくことが重要です。同時に、参加した乳幼児の保護者についても、子育ての体験談などを若者に伝える中で、改めて子育ての喜びを実感するとともに、子育てを介して社会貢献ができるという達成

1. 「有効求人倍率」：全国の公共職業安定所に申し込まれている求職者に対する求人数の割合で、求職者1人に対し、どのくらいの職のニーズがあるかという割合です。

感も醸成することで、子育ての喜びの輪が広がっていくようなまちづくりを推進します。

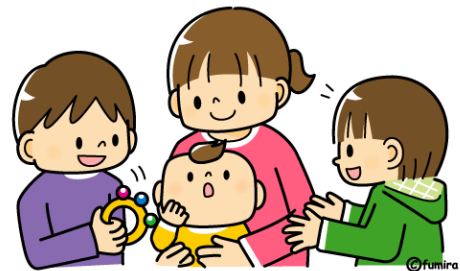
また、思春期の性に関する健全な意識の涵養を図り、合わせて、性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図ることが必要です。

◆重点課題 1 思春期から生命の大切さ子育ての楽しさを伝える活動の充実

保育所、認定こども園、子育て支援拠点施設などにおいて、中学生・高校生・大学生が乳幼児やその保護者とふれあう機会を設定し、子育てを身近に感じることができるようになります。また、生命の大切さや親の子に対する愛情を感じることによって、自分を大切に、周囲を理解する気持ち、相手を思いやる気持ちを持つことができるような活動を充実します。

【具体的施策】

No.	取組内容	実施主体	新規 拡充
	保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点施設などでの、中・高校生、大学生を対象とした乳幼児とのふれあいの機会を充実します。	☆子育て支援課 健康課、社会教育文化課 保育所、認定こども園 学校	
	中・高校生、大学生が企画・立案・実施する乳幼児と保護者向けのコンサートイベントを開催し、若者の子どもや子育てへの関心を高めます。	子育て支援課	削除
	看護師、幼稚園教諭、保育士などを目指す学生への体験活動の場を提供します。	子育て支援課 健康課	
	各学校と連携し、子育ての現状、健康づくり（生活習慣病、飲酒、喫煙、薬物乱用防止、ダイエット、性など）に関する情報を提供します。	☆健康課 学校教育課 学校	
	各学校の取組に応じて、母子保健関連事業を学習の場に活用できる体制を整備します。	学校教育課 健康課 学校 子育て支援課	
	男女が共同して子育てを行うことの意義や、喜びを理解するための学習機会を充実します。	☆子育て支援課 学校教育課 健康課 学校 地域共生課	
	父性、母性を育て、両性の理解を深めるための保健学習を充実します。	健康課 学校教育課 子育て支援課 ☆学校	



施策の方向性 2 若者の生活基盤整備の支援

若者が安定して生活を送るためには、雇用の場の創出をはじめ、将来的に家族を築くための環境など、生活基盤整備への支援が重要となります。

まず、少子化対策においては若者の定住促進が重要であり、そのためには、新規学卒者だけでなく、転職・再就職希望者、U I J ターン希望者などが、本市で就労を希望する場合にそれが可能となるような施策や、就職による定着率を向上させる施策が必要となります。若者の経済的自立は、定住促進につながる大きなポイントの一つであるため、その支援策を講じていく必要があります。

また、少子化の背景には、晩婚化・未婚化の影響が大きく、本市においても結婚を希望してもめぐり会う機会が少ないために結婚に結びつかない若者も多くいるのが現状です。そのため、関係機関・団体などと連携し、若者が出会い、交流する場の機会創出に努めていきます。

そして、地元外の大学へ進学する場合も含め、将来の本市を担う人材を育成する観点から、保護者の経済的負担を軽減し進学しやすい環境を整えていく必要があります。

◆重点課題 1 若者への就労支援

若者が本市において就労し、安定した生活を営むことができるような支援に努めます。また、第1次産業後継者に対しては、経済的支援だけではなく、技術研修などの機会を充実させ将来に夢と希望が持てるように支援します。

【具体的施策】

No.	取組内容	実施主体	新規 拡充
	ハローワーク、若者就職支援センター、商工会議所、商工会などの関係機関と連携し、若者への就労を支援します。	☆商工港湾課 事業所	
	セミナーやインターンシップなどによる高校生の職業能力開発や適性にあった職業選択への支援策を実施します。	☆商工港湾課 事業所	削除
	U I J ターンを希望する若者へ、U I J ターン人材バンクで就労支援策を行います。	地域共生課 事業所	
	地元企業に対する高校生の理解を深めることにより、地元就職を促進します。	☆商工港湾課 事業所 高等学校	
	U I J ターン就職を推進する企業に対して支援を行います。	☆商工港湾課 地域共生課 事業所	
	地元企業育成や企業誘致による就業機会拡大を進めます。	☆商工港湾課 事業所	
	新規就農希望者への就農支援や農業後継者に対する技術研修などを支援します。	農政課	
	漁業後継者の育成や活動を支援します。	農林水産課	
	都会と地元での生活水準を総合的に比較した場合の地元のメリットについてPRし、若者や保護者の地元定着への意識啓発を図ります。	☆商工港湾課 政策推進課	削除

◆重点課題 2 男女の出会い、交流の場づくりへの支援

結婚サポートセンターを設置し、結婚サポーターによる男女の出会いの創出を支援するとともに婚活イベント等を開催します。さらに、関係機関・団体等と連携して結婚推進に取り組み、結婚につながるように努めます。

【具体的施策】

No.	取組内容	実施主体	新規 拡充
	結婚サポーターによる男女の出会いの機会を創出します。	地域共生課	
	結婚サポートセンター等が婚活イベントを主催し、出会いの場を創出します。	地域共生課	
	各総合支所が婚活イベントを主催し、出会いの場を創出します。	八幡・松山・平田 総合支所地域振興課	削除
	農業青年出会い・交流創設事業を実施します。	農業委員会	削除

◆重点課題 3 就学に対する支援

大学等への進学に際して、保護者の経済的負担に対して支援します。また、国などの様々な就学支援制度の情報提供を行うことにより、保護者が家庭環境にあった制度を計画的に活用して教育を受けさせることができるように推進します。

【具体的施策】

No.	取組内容	実施主体	新規 拡充
	大学等修学支援事業を実施します。	企画管理課	
	就学に対する各種制度の周知と利用を促進します。	☆企画管理課 学校教育課	